

目次

01

特集「名古屋の観光」

第一部「名古屋と観光」と名古屋学

「名古屋と観光」と名古屋学……………山田明

「名古屋と観光」講義録……………須田寛

名古屋市珉光院の歴史と文化財……………吉田一彦

名古屋学への文学からのアプローチ……………谷口幸代

—清水義範を中心に—……………成田徹男

名古屋のことば……………阪井芳貴

「芸どころ」か「芸どころ」か?……………

アーバン・エトノリズム都市「なごや」をめざして……………

—都市型(アーバン)エトノリズムの意義と可能性—……………島田善規

31

第二部 観光まちづくりの国際比較

「観光まちづくりの国際比較—ペーチ(ハンガリー)と名古屋から考える」……………

「東欧とバルカンの文化的交錯の歴史と現在」……………山本明代

ペーチ(ハンガリー)の観光政策とヨーロッパ文化首都二〇一〇……………山本明代

43

特別寄稿

観光振興における観光倫理教育の必要性……………宮本佳範

—東南アジア地域の観光を念頭に—……………

テレビ・ドキュメンタリーと満洲移民研究……………山田陽子

—全体像把握と口述資料の挑戦—……………

50

人間文化研究所共同研究プロジェクト年間活動報告

科学教育の基層構築—児童の対外界実践欲求を条件づける嬰兒児期の系統的補助教具の開発……………

一八才のハロー・ファミリ—次世代育成支援のための基礎的研究……………

科研費基盤研究(B)「世界文学における混成的表現形式の研究—移民文学を中心に」……………

共同研究プロジェクト・科研費「世界文学における混成的表現形式の研究」主催・シンポジウム「世界の移民—生命文学の現状と可能性」……………

62

書評

後藤宗理編著

『保育現場のコミュニケーション 発達心理学的アプローチ』を読んで……………山田美香

小川仁志……………

『中役所の小川さん、哲学者になる 転身力』……………久田健吉

を読んで……………

堀和生編(やまだあつし執筆)……………

『東アジア資本主義史論II 構造と特質』……………浜本篤史

佐野直子著……………

『Para langsa an dhani - Vaghe duna Japanese dhis las Valades oorinas an'itaba』途上の言語 イタリア・オクシタン谷への旅……………阪井芳貴

有賀克明編著……………

『いつでもどこでも環境保育—自然・人・未来へつなぐ保育実践』……………成 玖美

つなぐ保育実践……………

自著を語る……………

『尾張狂俳の研究』……………富田和子

『やさしいバイトソン—コミュニケーション理論を学ぼう!』……………野村直樹

詩神の夕暮れ……………

—西脇順三郎と小千谷—折口信夫への序章……………太田昌孝

人間文化研究科の活動報告……………

海外フィールドワーク実習を通じたフェアトレード研究の可能性と課題……………福武慎太郎

ドイツ現代文化研究会 二〇〇八年度活動報告(名古屋市立大学)……………土屋勝彦

人間文化研究所年間活動……………

表紙写真…二〇〇八年二月八日、公開中の東南隅櫓から撮った名古屋城……………

天守閣……………